



平成 18年 3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結) 平成 17年 7月 29日

上場会社名 株式会社 ヤクルト本社 上場取引所 東証 大証
 コード番号 2267 本社所在都道府県 東京都
 (URL <http://www.yakult.co.jp>)
 代表者 代表取締役社長 堀 澄也
 問合せ先責任者 取締役 大坪 勝己 TEL (03) 3574 - 8960

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法の最近連結会計年度に :有 税金費用の計算などについては、
 おける認識の方法との相違の有無 一部簡便的な方法を採用しています。
- ②連結及び持分法の適用範囲の異動状況 :有 連結(新規) 2社
- ③監査法人による監査は受けていません。
- ④連結子会社の決算日は12月31日であり、当該四半期実績は1月1日～3月31日の実績となります。
- ⑤記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

2. 平成18年 3月期 第1四半期の業績概況(平成 17年 4月 1日 ~ 平成 17年 6月 30日)

(1)連結経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年 3月期第1四半期	61,510	3.9	3,581	16.2	6,196	32.9
17年 3月期第1四半期	59,213	0.9	3,082	-	4,663	-
(参考)17年 3月期	247,506		18,125		25,792	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当 たり四半期(当期)純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
18年 3月期第1四半期	2,806	18.7	16.11	-
17年 3月期第1四半期	2,363	-	13.55	-
(参考)17年 3月期	14,104		79.67	-

(注)売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は対前年同四半期増減率

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しと雇用情勢の改善により、景気は踊り場からの脱却に向けた明るい動きも見られる状況で推移しました。

このような状況のなかで、当社グループは、21世紀の健康のキーワードであり、かつ、事業の根幹であるプロバイオティクス(人の健康に有益な働きをする生きた微生物)の啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求するとともに、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の整備に取り組み、業績の向上に努めました。

この結果、当第1四半期の連結売上高は61,510百万円(前年同期比 3.9%増)となりました。利益面においては、連結経常利益は6,196百万円(前年同期比32.9%増)、連結第1四半期純利益は2,806百万円(前年同期比18.7%増)となりました。

(2)連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	298,702	197,282	66.0	1,132.52
17年3月期第1四半期	282,588	183,730	65.0	1,053.36
(参考)17年3月期	293,921	196,022	66.7	1,123.03

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	2,169	△ 7,094	△ 2,090	59,644
17年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)17年3月期	19,348	△ 21,418	△ 6,867	66,145

(注)四半期業績の開示は当期から実施しているため、前年同四半期実績については記載していません。

[財政状態(連結)の変動に関する定性的情報等]

当第1四半期連結会計期間末の総資産は298,702百万円、負債は86,091百万円、株主資本は197,282百万円となり、株主資本比率は66.0%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が6,087百万円であり、法人税等の支払額などの控除後の純増額は2,169百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産および投資有価証券の取得による支出があったことにより△7,094百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額があったことにより△2,090百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の期末残高は59,644百万円となり、前連結会計年度末と比べて6,500百万円減少しました。

(4)連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数67社 持分法適用非連結子会社数 0社 持分法適用関連会社数 3社

3. 18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	130,000	13,000	6,500
通期	258,000	27,000	14,500

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 82円04銭

業績は概ね決算発表時の予想どおりに推移しており、業績予想の変更はありません。

(添付資料)

1. 要約連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期 (平成17年6月30日現在)		前第1四半期 (平成16年6月30日現在)		前連結会計年度 (平成17年 3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(資産の部)		%		%		%
I 流 動 資 産	141,147	47.3	136,165	48.2	142,853	48.6
現金及び預金	61,063		-		67,487	
受取手形及び売掛金	41,071		-		38,789	
たな卸資産	27,756		-		27,115	
その他の	11,256		-		9,460	
II 固 定 資 産	157,554	52.7	146,422	51.8	151,068	51.4
有形固定資産	87,449		-		86,830	
無形固定資産	5,054		-		4,409	
投資その他の資産	65,051		-		59,829	
資 産 合 計	298,702	100.0	282,588	100.0	293,921	100.0
(負債の部)						
I 流 動 負 債	64,366	21.6	59,053	20.9	62,211	21.2
支払手形及び買掛金	24,533		-		23,840	
短期借入金	11,868		-		12,306	
その他の	27,964		-		26,064	
II 固 定 負 債	21,725	7.3	26,270	9.3	21,292	7.2
長期借入金	1,928		-		1,653	
退職給付引当金	15,836		-		15,741	
その他の	3,960		-		3,897	
負 債 合 計	86,091	28.9	85,323	30.2	83,504	28.4
(少数株主持分)						
少 数 株 主 持 分	15,328	5.1	13,534	4.8	14,395	4.9
(資本の部)						
I 資 本 金	31,117		-		31,117	
II 資 本 剰 余 金	40,768		-		40,768	
III 利 益 剰 余 金	134,580		-		133,602	
IV その他有価証券評価差額金	946		-		2,071	
V 為 替 換 算 調 整 勘 定	△ 7,376		-		△ 9,008	
VI 自 己 株 式	△ 2,753		-		△ 2,528	
資 本 合 計	197,282	66.0	183,730	65.0	196,022	66.7
負債、少数株主持分 及び資本合計	298,702	100.0	282,588	100.0	293,921	100.0

(注)前年同四半期実績については、大区分のみの開示となっています。

(添付資料)

2. 要約連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期		前第1四半期		前連結会計年度	
	自平成17年4月1日 至平成17年6月30日		自平成16年4月1日 至平成16年6月30日		自平成16年4月1日 至平成17年3月31日	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%		%
I 売上高	61,510	100.0	59,213	100.0	247,506	100.0
II 売上原価	27,436	44.6	26,057	44.0	110,641	44.7
売上総利益	34,073	55.4	33,155	56.0	136,864	55.3
III 販売費及び一般管理費	30,492	49.6	30,072	50.8	118,739	48.0
営業利益	3,581	5.8	3,082	5.2	18,125	7.3
IV 営業外収益	3,013	4.9	1,917	3.2	9,448	3.8
V 営業外費用	397	0.6	335	0.5	1,781	0.7
経常利益	6,196	10.1	4,663	7.9	25,792	10.4
VI 特別利益	21	0.0	119	0.2	3,955	1.6
VII 特別損失	129	0.2	722	1.2	4,688	1.9
税金等調整前四半期(当期)純利益	6,087	9.9	4,060	6.9	25,059	10.1
法人税等	2,726	4.4	1,276	2.2	9,512	3.8
少数株主利益	554	0.9	420	0.7	1,441	0.6
四半期(当期)純利益	2,806	4.6	2,363	4.0	14,104	5.7

	当第1四半期 (百万円)	前第1四半期 (百万円)	前連結会計年度 (百万円)
1. 営業外収益の主要項目			
受取利息	400	252	1,135
受取配当金	289	83	180
為替差益	476	-	193
ロイヤリティ収入	799	607	3,208
持分法による投資利益	791	652	2,862
2. 営業外費用の主要項目			
支払利息	52	71	229
3. 特別利益の主要項目			
厚生年金基金代行返上益	-	-	49
退職給付過去勤務債務取崩益	-	-	※ 3,653
※連結財務諸表提出会社の確定給付型新企業年金制度への移行に伴うものです。			
4. 特別損失の主要項目			
退職給付引当金繰入額	-	682	2,490
原材料廃棄損	-	-	700

(添付資料)

3. 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期	前連結会計年度
	自平成17年4月1日 至平成17年6月30日	自平成16年4月1日 至平成17年3月31日
	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益	6,087	25,059
減価償却費	1,937	8,039
諸引当金の増減額	△ 173	△ 1,100
受取利息・受取配当金	△ 690	△ 1,315
持分法投資利益	△ 791	△ 2,862
その他損益	656	2,513
売上債権の減少(△増加)額	△ 2,211	△ 551
たな卸資産の減少(△増加)額	△ 703	△ 487
仕入債務の増加(△減少)額	684	△ 2,160
その他資産負債による増減額	△ 888	△ 197
そ の 他	△ 51	1,791
小計	3,855	28,728
利息及び配当の受取額	1,173	1,884
法人税等の支払額 他	△ 2,860	△ 11,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,169	19,348
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による増減額	△ 76	512
固定資産の取得による支出	△ 2,159	△ 8,377
固定資産の売却による収入	632	646
投資有価証券の取得による支出	△ 4,997	△ 14,251
そ の 他	△ 492	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,094	△ 21,418
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純減少額	△ 174	△ 564
長期借入金返済による支出	△ 163	△ 3,327
自己株式の取得による支出	△ 12	△ 206
配当金の支払額	△ 1,743	△ 2,616
そ の 他	3	△ 151
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,090	△ 6,867
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	514	△ 565
V. 現金及び現金同等物の増加(△減少)額	△ 6,500	△ 9,503
VI. 現金及び現金同等物期首残高	66,145	75,648
VII. 現金及び現金同等物期末残高	59,644	66,145

(注)四半期業績の開示は当期から実施しているため、前年同四半期実績については記載していません。

(参考1)当該四半期の業績を事業の種類別ごとに示すと次のとおりです。

当第1四半期(自平成17年4月1日 至平成17年6月30日) (単位:百万円)

	飲料および食品 製造販売事業	医薬品製造 販売事業	そ の 他 事 業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高	54,197	5,184	2,128	61,510	-	61,510
営 業 費 用	48,661	4,194	2,002	54,858	3,071	57,929
営業利益(又は損失)	5,536	990	125	6,652	△ 3,071	3,581

前第1四半期(自平成16年4月1日 至平成16年6月30日) (単位:百万円)

	飲料および食品 製造販売事業	医薬品製造 販売事業	そ の 他 事 業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高	52,298	3,119	3,794	59,213	-	59,213
営 業 費 用	-	-	-	-	-	-
営業利益(又は損失)	-	-	-	-	-	-

前連結会計年度(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日) (単位:百万円)

	飲料および食品 製造販売事業	医薬品製造 販売事業	そ の 他 事 業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高	215,585	17,796	14,124	247,506	-	247,506
営 業 費 用	191,130	13,939	13,397	218,467	10,913	229,381
営業利益(又は損失)	24,454	3,857	727	29,038	△ 10,913	18,125

(注)売上高以外の四半期業績の開示は当期から実施しているため、前年同四半期実績については記載していません。

(参考2)当該四半期の業績を所在地別ごとに示すと次のとおりです。

当第1四半期(自平成17年4月1日 至平成17年6月30日) (単位:百万円)

	日 本	米州地域	アジア・ オセアニア地域	ヨーロッパ地域	計	消去又は全社	連 結
売 上 高	50,494	5,975	2,518	3,178	62,167	△ 657	61,510
営 業 費 用	47,131	4,052	1,918	2,413	55,515	2,413	57,929
営業利益(又は損失)	3,363	1,923	600	764	6,652	△ 3,071	3,581

前第1四半期(自平成16年4月1日 至平成16年6月30日) (単位:百万円)

	日 本	米州地域	アジア・ オセアニア地域	ヨーロッパ地域	計	消去又は全社	連 結
売 上 高	49,123	5,352	2,226	2,511	59,213	-	59,213
営 業 費 用	-	-	-	-	-	-	-
営業利益(又は損失)	-	-	-	-	-	-	-

(注)所在地間の取引については相殺消去しています。

前連結会計年度(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日) (単位:百万円)

	日 本	米州地域	アジア・ オセアニア地域	ヨーロッパ地域	計	消去又は全社	連 結
売 上 高	206,673	22,427	10,219	10,649	249,969	△ 2,463	247,506
営 業 費 用	188,206	16,513	8,146	8,064	220,930	8,450	229,381
営業利益(又は損失)	18,466	5,913	2,073	2,585	29,038	△ 10,913	18,125

(注)売上高以外の四半期業績の開示は当期から実施しているため、前年同四半期実績については記載していません。

[売上高に関する補足説明]

・飲料および食品製造販売事業部門

(国内の状況)

乳製品については、主力商品である乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」が前期に引き続き好調に推移しました。また、昨年11月と本年2月に、それぞれ販売を開始した乳製品乳酸菌飲料「プレティオ」「ヤクルト300V」も期間中の売り上げ増に寄与した結果、乳製品全体としては前年同期を上回って推移しました。

ジュース・清涼飲料については、本物志向、健康志向の「黒酢ドリンク」や、新たな豆乳類として素材本来のおいしさが味わえる新商品「調製豆乳(黒豆使用)」をはじめとした健康機能性飲料は前年同期を上回りました。しかしながら、珈琲や紅茶を中心としたソフト飲料が伸び悩んだため、ジュース・清涼飲料全体としては前年同期を下回る実績となりました。

(海外の状況)

海外については、アジア・オセアニア地域、米州およびヨーロッパ地域においていずれも順調に実績を伸ばしており、全体でも前年同期を上回って推移しました。

平成17年6月度の一日当たり平均販売本数は約1,652万本となっています。

・医薬品製造販売事業部門

医薬品については、本年3月に輸入承認を受けた、がん化学療法剤「エルプラット」を4月から発売しました。本剤は、デビオファーム社(所在地:スイス ローザンヌ市)が開発した抗悪性腫瘍剤で、結腸・直腸がん(大腸がん)に対する世界的な標準治療薬として、日本国内での承認・発売が長く待たれていたこともあり、発売以降、適正使用に重点を置いた活動を展開しています。また、国内外におけるがん化学療法剤「カンプト」の売り上げも好調に推移した結果、医薬品全体としては前年同期を大きく上回る実績となりました。

・その他事業部門

化粧品については、本年2月に追加商品を投入した基礎化粧品の主力商品「リベシィ」シリーズが大きく売り上げを伸ばしました。しかしながら商品ブランドの見直しに伴うアイテム数削減の影響により、全体としては前年同期を下回る実績となりました。

一方、プロ野球興行については、従来、予約席収入を入金時に処理していましたが、当第1四半期から公式戦の開催実態に対応させて売上計上することになりました。なお、当該処理による年度決算に与える影響はありません。

(参考3)平成18年3月期第1四半期売上高(個別)の状況は次のとおりです。

(単位:百万円)

	平成18年3月期 第1四半期	平成17年3月期 第1四半期	対前年同 四半期増減率	参考 平成17年3月期
売上高	百万円 39,887	百万円 38,175	% 4.5	百万円 156,525

(品目別内訳)

(単位:百万円)

	平成18年3月期 第1四半期	平成17年3月期 第1四半期	対前年同 四半期増減率	参考 平成17年3月期
乳製品	20,143	19,948	1.0	78,011
ジュース・清涼飲料	11,288	11,620	△ 2.9	46,069
化粧品	1,428	1,456	△ 2.0	6,732
医薬品	5,184	3,119	66.2	17,796
その他	1,843	2,030	△ 9.2	7,916
合計	39,887	38,175	4.5	156,525

以上